中頭病院・ちばなクリニックの活動

ちばな地域医療フォーラムについて

社会医療法人敬愛会中頭病院・ちばなクリニック
BSCセンター長　仲田清剛

社会医療法人敬愛会は 1982 年中頭（なかがみ）病院開設、2002 年ちばなクリニック併設し、現在に至る。施設は、沖縄県本島の中部地区（二次診療圏は 40 万人）を対象に、急性期病院の中頭病院（326 床）と外来専門のちばなクリニック（一日平均 1300 名）で医療活動を展開。その中で、4 つの理念――1. 地域に最高の医療を提供する、2. 患者サービスに徹する、3. 経営の安定化、4. 職場は人生修行の場――の実現を目指している。

今回、行動目標 8「患者・市民の医療参加」について、敬愛会の取り組みを紹介する。

ちばな地域医療フォーラムは、8 年前、理念の「患者サービスに徹する」の具体化としてスタートした。過去 7 回の間に、地域の皆様からの声を受けて、24 時間対応の救急センター開設、ちばなクリニック内に市民健康図書室「かりん」の設置、PET設備の沖縄がん診断センターの開設、眼科・血液浄化センターの拡充、心臓血管外科・脳神経外科の開設、夜間無呼吸外来の新設、助産師外来新設が実現してきた。

2010.3.23　ちばな地域医療フォーラム

参加者は各市町村代表者、4 つの自治会会長、3 つの近隣消防署（救急隊）、4 つの患者の会（乳がん青空会・糖尿病ちばな会・透析そらまめ会・在宅酸素ほっとっと会）代表者、中頭病院・ちばなクリニック代表者等で、毎回 30 名以上が参加している。年 1 回、1. 一年間の敬愛会の活動報告、2. 患者の会活動報告、3. 各代表者からの要望を中心に 2 時間討議が行われる。

2010.2.20　青空会

今年行なわれた「ちばな地域医療フォーラム」では、1. 新型インフルエンザ対策の報告、2. フットケア看護外来の新設、3. 僻地医療への取り組み・沖縄県ヘリ添乗事業への参加、DMAT の編成、4. 頭頚部腫瘍センター・脳血管内治療の紹介、5. 待ち時間・駐車場問題等が討議された。

そして、患者さんへの情報活動としては、各外来ブースに設置してある 5 台の大型ディスプレイで患者さんへ安全についての情報を提供してきた。

さらに中央採血室では、患者間違いを防ぐための対策をポスター展示している。

患者間違い防止を呼びかけるポスター